

NA

株式会社 ネクストエアー

代表取締役 / 田中国夫(たなか くにお)
設立・創業 / 平成18年9月1日
所在地 / 〒359-1142 埼玉県所沢市上新井2-43-1
TEL / 0429-41-3202
FAX / 0429-41-3507
Email / next-air4415@jcom.home.ne.jp

代理店

● ● ● ● INFECTION CONTROL



INFECTION CONTROL

私たちは、清潔エリアの「測定」
「HEPAフィルターの交換」
「全体の消毒清掃」「ワックス」を
専門とするプロ集団です。

◎ ホルマリン作業環境測定

病院機能評価

4.9.1.2

機能に見合った施設・設備・機器・薬品などが
整備され、適切に管理されている
(4.9手術・麻酔機能)

- ①必要な手術室が整備されている
- ②手術室に見合った空調設備および空気清浄設備があり、保守点検されている
- ③医療ガス配管や麻酔器、必要なME機器・手術器具が整備され、保守点検されている
- ④余剰ガス排出装置がある
- ⑤麻薬・毒薬・劇薬・ハイリスク薬剤などの薬剤が適正に保管・管理されている
- ⑥輸血用血液製剤の保管・管理が適切に行われている
- ⑦清潔ゾーンが明確にされている

1) ISO基準

微小粒子濃度限界値への適合性を立証する為の試験スケジュール

分類	最大時間間隔	試験方法
ISOクラス5以下	6ヶ月	ISO14644-1:1999、付属書B
ISOクラス5超	12ヶ月	ISO14644-1:1999、付属書B

全てのクラスの追加試験スケジュール

試験パラメーター	最大時間間隔	試験方法
空気流量又は気流速度	12ヶ月	ISO14644-3-、B4
気圧差	12ヶ月	ISO14644-3-、B5

2) 厚生労働省国立病院部経営指導基準

設備	点検内容	点検間隔
中央管理方式の空調設備	環境測定(気流、温度、CO ₂ 、塵埃等)	2ヶ月
手術室等の空気清浄度	清浄度測定、及び陰陽圧確認	6ヶ月
フィルター類(手術室等のHEPA)	外観及び目詰まり点検(汚損、差圧確認)	6ヶ月
フィルター類(空調機、FCU等)	目詰まり点検(汚損状況の確認)	1ヶ月

浮遊細菌検査や付着細菌検査は「医療施設における院内感染の防止」(平成17年2月1日付 医政指発第0201004号医政局指導課長通知)において「定期的な環境微生物検査は必ずしも施設の清浄度の指標とは相関しないことから、一律に実施するのではなく、例えば、院内感染経路を疫学的に把握する際に行うなど、必要な場合に限定して実施すること。」とされています。

清浄度クラスの比較表			
FED-STD-209E		JIS B 9920	ISO14644
英語表記	SI表記		
—	—	クラス1	ISOクラス1
—	—	—	—
—	—	クラス2	ISOクラス2
—	クラスM1	—	—
クラス1	クラスM1.5	クラス3	ISOクラス3
—	クラスM2	—	—
クラス10	クラスM2.5	クラス4	ISOクラス4
—	クラスM3	—	—
クラス100	クラスM3.5	クラス5	ISOクラス5
—	クラスM4	—	—
クラス1,000	クラスM4.5	クラス6	ISOクラス6
—	クラスM5	—	—
クラス10,000	クラスM5.5	クラス7	ISOクラス7
—	クラスM6	—	—
クラス100,000	クラスM6.5	クラス8	ISOクラス8
—	クラスM7	—	—
—	—	—	ISOクラス9

SECTION 1

4種の環境測定業務サービス



Service 1

リークテスト

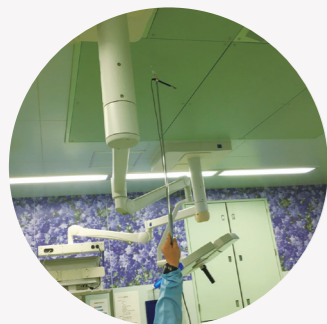
HEPAフィルターと吹出口との接合部から一次側空気が漏れていないか確認します。



Service 2

差圧測定

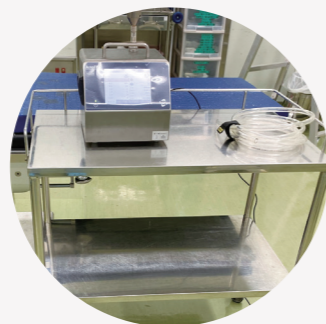
室内外の差圧が、日本医療福祉設備協会の規格内か確認します。



Service 3

風速風量測定

空調吹出口において設計風量が得られ、必要な風量が確保されているか確認します。



Service 4

浮遊塵埃測定

室内の浮遊塵埃が、ISO規格のクラス規定清浄度通りになっているか確認します。

SECTION 2

HEPA・中性能フィルター交換業務

クリーンルームの性能を維持するために中性能・HEPA(以降高性能フィルター)フィルターの存在は欠かせません。外気中の浮遊塵埃は高性能フィルターでろ過され正常な空気となって室内に入りますが、これらのフィルターは0.3 μ mという微細な粒子をろ過するため通常のフィルターとは違い洗って再利用することはできません。従いまして高性能フィルターは目詰まりによって処理能力が低下し、クリーンルームの性能が維持できなくなる前に交換が必要となります。弊社ではHEPAフィルターの交換業務及び交換後の測定業務を行っておりますのでフィルター交換の際には是非ご用命ください。



新旧HEPAフィルター比較



HEPAフィルター交換作業

SECTION 3

全体清拭消毒業務

感染管理の観点から清潔な環境は必要不可欠です。CDCガイドラインでも「環境表面を適切に洗浄および消毒することが、院内感染防止のためには欠かせない。」とされており、さすが日々の業務の合間で天井、壁、无影灯アームなどの環境表面を消毒することは困難です。そこで弊社全体清拭消毒サービスで普段手の届かない環境表面を消毒し清潔な医療環境を整備されることをご提案いたします。尚弊社では消毒時にはCDCガイドラインに従い、米国EPA(米国環境保護局)、DIN(カナダ医療品承認番号)で承認された消毒剤を使用し科学的根拠のある消毒を行います。

◎新型コロナウイルス感染症対応消毒清掃も承っております。 ◎コロナ感染症対策商品のお取り扱いもございます。

簡易陰圧装置/陰圧ベッド/クリーンパーテーション
サーモカメラ/ソーシャルディスタンスステッカー etc

バイオハザード対策用キャビネット法定検査のご案内

バイオハザード対策用キャビネットとは
感染性生物又はその成分によって引き起こされる害から作業者及び
環境を保護することを目的として用いる作業装置です。



人体に有害な生物材料(コロナウイルス、ボツリヌス菌、多剤耐性結核菌、エボラウイルス等)などを取り扱うキャビネットは、**感染症法(第56条24)**により**1年に1度の検査が法律**で定められています。
抗がん剤のみを取り扱うキャビネットは注射剤・抗がん薬無菌調整ガイドラインにより**6か月に1度**の検査が求められております。

《 具体的な検査項目につきまして 》

検査はJIS K 3800にある「現場検査(設置後検査・維持管理検査)」を基本とした検査を行います。

- ① 検査を行う場合には事前にベンチ内をホルマリンで燻蒸する必要があります。
(燻蒸には1日かかります)
- ② 燻蒸を行ったのちベンチ内を中和します。
- ③ 測定作業を行います。

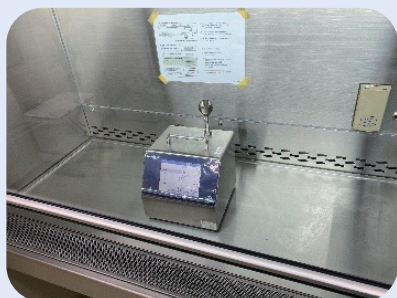
・外観検査 ・動作確認 ・風速検査 ・HEPAフィルターリーク測定 ・清浄度測定 ・気流方向検査
・照度検査 ・騒音検査 ・消費電力検査 ・絶縁抵抗検査(JIS K 3800 の規定に基づいた検査を行います)



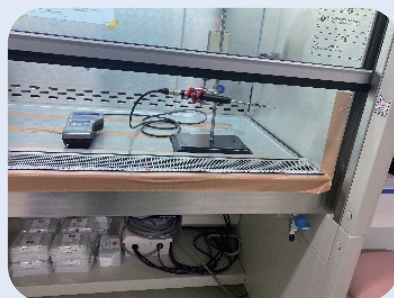
(ホルマリン燻蒸作業)



(HEPAフィルターリーク測定)



(清浄度測定)



(風速測定)

以上の検査を行い必要に応じてフィルター等の交換を行います。検査作業は空気清浄協会が定める、バイオハザード対策用クラスIIキャビネット現場設置検査技術研修修了者が行います。

空調給排気口清掃サービス



「院内の空調給排気口は清掃されていますか？」

菌は埃に付着します。「もし埃が院内に拡散してしまったら」と清掃作業を躊躇されていたら、弊社の開発した専用フードでの清掃を行えば、費用も時間も削減でき、埃の拡散も致しませんので安心です。また、その他の給排気口に関しましても除塵清掃をいたしますのでご相談ください。

【 特徴 】

- ★フード(特許取得済)を使用することで、フード内が陰圧になるため、埃などを周囲に拡散せずに作業できます。
- ★365日、患者様がいらっしゃる場合も作業が可能です。
- ★1日に約50~80ヶ所の吸込口清掃が可能になりました。
- ★HEPAフィルター付掃除機を使用して作業いたします。
- ★内部のシャッターまで、そのまま除塵できます。

《 作業例 》

〈 吸い込み口 〉

BEFORE



processing▶



AFTER

〈 換気口 〉

BEFORE



processing▶



AFTER

〈 エアコン周りのカビ及び埃 〉

BEFORE



processing▶



AFTER

BEFORE



processing▶



AFTER